交流親善

地域連携による多様性ある開かれた発展の促進
～「第 26 回日中韓３か国地方政府交流会議」の開催～

（一財）自治体国際化協会交流支援部交流親善課

2025 年 10 月 14 日から 18 日にかけて、「第 26 回日中韓３か国地方政府交流会議」が中国・江蘇省塩城市で開催されました。

当会議は、３か国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的として、クレア、中国人民対外友好協会、大韓民国市道知事協議会が 1999 年より輪番制で毎年開催しております。

開催地である塩城市は、江蘇省の北東部沿岸地域に位置し、湿地、海洋、森林の３大生態系を兼ね備える自然豊かな都市であり、「東方の湿地、黄海のパール」として知られます。

今回は、「地域連携による多様性ある開かれた発展の促進」をメインテーマに、「地域経済の活性化と協調的発展の推進」「スマート技術による脱炭素化を通じた持続可能な社会の構築」「環境資源を活かした観光・文化の振興による東洋文明の発信」の３つをサブテーマとして、各都市の取り組み紹介や意見交換がされ、日本から 86 人、中国から 220 人、韓国から 142 人が参加し活発な交流が行われました。

歓迎レセプション・開会式

10 月 15 日には、開催地である塩城市主催の歓迎レセプションが行われ、中国の伝統舞踏と歌唱パフォーマンスによるオープニングセレモニーや塩城市書記および市長からの歓迎のあいさつがありました。終始にぎやかな雰囲気の中、各国の参加者が活発に交流しました。そして翌日 16 日には、開会式が盛大に開催されました。

開会式でのスイッチオンセレモニーの様子

本会議

10 月 16 日の本会議では、各国から各テーマの事例発表が行われました。

本会議の主なプログラム〔10 月 16 日〕※発表順、敬称略

○メインテーマ
中国：塩城市政府市長　厳漢平
日本：鳥取県知事　平井伸治
韓国：仁川広域市行政副市長　河炳弼

○サブテーマ１
日本：千葉市副市長　橋本直明
韓国：光州広域市国際関係大使　朴先哲
中国：遼寧省本溪市人民政府副市長　殷俊

○サブテーマ２
韓国：忠清北道曾坪郡守　李在榮
中国：重慶市沙坪坝区人民政府副区長　趙祺
日本：徳島県政策監　上田紘嗣

○サブテーマ３
中国：貴州省銅仁市人民政府市長　穆嶸坤
日本：新潟県佐渡市長　渡辺竜五
韓国：全北特別自治道井邑市長　李學洙

メインテーマの発表においては、日本から鳥取県の平井知事にご登壇いただき、鳥取県と中国・韓国とのこれまでの交流について、経済・スポーツ・文化など幅広い分野にわたる地域連携の具体的事例を、中国語・韓国語を用いてご発表いただきました。

鳥取県・平井知事の発表の様子

続いて、サブテーマ１においては、日本からは千葉市の橋本副市長にご登壇いただき、中韓企業との共同事業を通じて、産業集積・農業・観光スポーツ振興の推進につなげる取り組みや、千葉ポートを活用した国際連携による地域経済活性化についてご発表いただきました。

また、サブテーマ２においては、日本から徳島県の上田政策監にご登壇いただき、広大な山地と豊富な水資源を活かしたクリーンエネルギー政策に加え、地産水素やEV 技術を取り入れた次世代エネルギーへの取り組みについてご発表いただきました。

事例発表の最後を飾るサブテーマ３においては、日本から佐渡市の渡辺市長にご登壇いただき、トキの保護を軸とした生物多様性農業「朱鷺と暮らす郷」の取り組み、環境と経済の循環を促しながら、美しい棚田や島の自然、サイクリングやナイトカヤックの体験など、歴史文化を活かした観光振興についてご発表いただきました。

サブテーマ登壇者によるパネルディスカッションの様子

交流広場

各国の自治体が今後の交流内容などについて協議する場である交流広場には、日中韓の 20 自治体が参加しました。実務者同士が直接顔を合わせる貴重な機会であり、活発な意見交換と和やかな交流が行われました。

交流広場の様子

市長円卓会議

今回は、開催地主催による市長円卓会議が初めて開催され、日中韓 17 都市の代表者が一堂に会し「開放を通じて発展を促し、協力を通じて Win-Win な未来を共に創る」をテーマに意見交換が行われました。北東アジアの持続的発展に向け、３国の友好関係強化と「地方の力」を活かした新たな協力の道を探る意思を確認しました。

市長円卓会議オープニングの様子

エクスカーション

10 月 14、15、17 日には、参加希望者による市内の視察が行われました。塩城市は、タンチョウとシフゾウの国家級自然保護区を有し、「世界自然遺産」「国際湿地都市」の称号を誇る環境先進都市であり、参加者は「黄海湿地博物館」や「東台黄海国家森林公園」などを訪れました。

東台条子泥景観地にて湿地の生態や渡り鳥の保護について説明を受ける参加者

会議を終えて

各国の先進事例を知り、地域連携による多様性ある開かれた地域の発展についての施策を学ぶことができました。自治体や民間レベルでの交流が３か国の関係の一翼を担っており、本会議をはじめとした自治体交流の重要性を改めて実感する有意義な会議となりました。

次期開催のお知らせ（日本開催）

第 27 回の会議は、2026 年 11 月に兵庫県姫路市において開催されます。今後の情報は、随時当協会のホームページなどを通してご案内いたします。首長級のみならず、実務者レベルでも日中韓３か国の地域間交流と協力を深めることができる絶好の機会です。

是非ご参加ください。

「日中韓３か国地方政府交流会議」に関する情報はこちらをご参照ください。（クレアホームページ）